



令和7年5月24日に
鈴鹿医療科学大学で

第7回 三重看護研究会学術集会在開催されました。



【テーマ】
急性期一般病棟で勤務する
看護師のせん妄に対する認識



【テーマ】
A病院で働く子育て期にある女性看護師が
就業継続可能な要因



【テーマ】
コロナ禍におけるシャドーイングによる
臨地実習を行った実習指導者の
役割遂行について



当院からは4題発表しました。
質疑に対しても落ち着いてこたえる
ことができており、とても頼もしく感じました。

研究に取り組んでいるときは、大変さを感じることも多かったと思いますが、頑張っって最後まで取り組み、発表もできて素晴らしいです。自己の成長にも繋がったことと思います。本当にお疲れ様でした。

